

# 観天 望気

## 力を合わせて

2024年、石川県は能登半島地震と奥能登豪雨という二つの大災害に見舞われ、農林水産業関係でも、農地や漁港をはじめ甚大な被害が生じました。全国の皆さま方には、発災直後から多くのご厚意やご支援をいただき、心から感謝を申し上げます。農林水産業は能登の基幹産業であり、「農林水産業の復興なくして、能登の創造的復興はない」との強い思いで、農地などの早期復旧や、被災した生産者の支援に、全力で取り組んでいます。

災害による影響の他にも、気候変動に伴う生育環境の変化や、担い手の減少・高齢化、耕作放棄地の増加など多くの課題を抱えています。本県では、単なる被災前の復元にはとどまらない「創造的復興」の実現と、農林水産業のさらなる成長・発展のため、これらの課題を踏まえた取り組みを進めています。

農業分野では、25年度、新たな「いしかわの食と農業・農村ビジョン」を策定しています。施策の方向性の一つとして、少ない農業者でも生産力を維持・確保できるよう、農地の大区画化・集約化やスマート農業技術の導入による省力化・効率化を通じた持続可能な農業の実現を掲げたいと考えています。

農業の担い手の確保・育成に向けては、公益財団法人いしかわ農業総合支援機構が主体となり、「いしかわ耕稼塾」を09年から開講しています。就農をめざす方々を対象とした基礎技術・知識の研修から、経営感覚に優れたプロ農業者を志す若手農家のレベルアップまで幅広く扱うほか、ニーズを踏まえて毎年研修内容を充実させて、25年度は新たに、研修生の経営内容に応じたスマート農業技術の活用手法を学ぶコースを設置しました。さらに、地元ゆかりのものづくり企業と連携して開発した農業用ブルドーザーを活用し、被災農地復旧作業研修などの独自の取り組みも進めています。

持続可能で魅力ある農林水産業の実現に向け、力を合わせ一丸となって取り組んでいきたいと思います。



馳 浩  
石川県知事

はせひろし  
1961年生まれ。星稜高校国語科教諭、オリンピック選手（レスリング・グレコローマン90kg級出場）、プロレスラーを経て、参議院議員・衆議院議員など国会議員在職約27年。第16代文部科学大臣、教育再生担当大臣などを歴任。22年、石川県知事就任。